

2023 春・夏号

Access and Conservation

環境登山

5月27日(土) 環境登山パート1

晴れ 参加者11名

二ノ塔にて環境登山パート1を行いました。環境登山とは、岳連・自然保護委員会が、山岳自然保全を目的として、植樹を、主に行ってきた活動です。丹沢・三ノ塔山腹(1100m付近)と、二の塔山腹付近に、崩落などの裸地や荒廃地へ、『パイオニアプラント』ケヤマハンノキなどの樹木を植樹してきました。今回は、二の塔ヤマトタケル足跡付近に、春植え苗木の植樹を行いました。モミ、スギ(県開発無花粉スギ)、山桜、ヤマボウシ、ミツマタの混植をしました。これらの苗は、丹沢山地の種子からの苗です。二の塔植栽地付近は、シカの食害やフンの痕跡があります。また、二の塔植栽地には、『植生保護柵』がありません。秦野市森林組合に相談し、苗木一本ずつに、『トリカルネット』を施しました。秋は、「ブナ」を植えたいと思っています。みなさま♥丹沢での「ブナ林」の情報ありませんか？丹沢での登山のお話し聞かせてください。秋の活動では、「ブナ林」視察を企画します。

環境登山パート2は、秋植え植樹や、観察会を10月22日(日)に予定しています是非ご参加ください。

4月23日

晴れ・二の塔植栽地点検3名

4月、今年度の植樹予定地・二の塔ヤマトタケルの足跡付近森林の様子を見に



行きました。菩提峠からの登山道にはヤマルリソウが咲いていました。春の息吹を感じました。ヤビツ峠からの林道は山桜の大木が谷側に何本か見ました。そして、二の塔植栽地周辺はミツバツツジが咲いていました。この日は、点検を終えて柏木林道を降りました。春嶽沢辺りのカンアオイ、スミレを観照しました。いつかギフ蝶の観察できたらうれしいです。

ヤビツ峠周辺のごみ拾いしながら歩きました。



5月20日

曇り・トリカルネットなど荷揚げ6名

5月、環境登山の準備でした。5名集合トリカルネットの荷揚げ。霧が覆う山のお天気。霞む向こうに橙色の山ツツジの山稜の道は美しかったです。

7月23日

晴れ・二の塔・植樹後点検2名

5月に植えた苗の状況を見に行きました。トリカルネットの状態は良く、山桜、ヤマボウシはネットの風通し良いようです。スギに茶色くなったのがありました。ミツマタは元気です！育ったケヤマハンノキの幼樹ネットは、外してゆきたいです。

「もうこれ、脱ぎたいよ。」って、木が言っているようです。所で、登る途中は、アザミ山群です。きっと、2、3種あると思います。大きい葉はフジアザミではないかしら？このアザミの道あたりは、シソ科の花やマメ科の花、いくつかの種類の花が咲いています。9月、蝶、トンボが、青空と花々の間を飛んでいることでしょう。



今後の予定

- 9月24日(日) ドングリ拾い
- 10月15日(日) 萱狩り、ネット外し。人員求む！
- 10月22日(日) 環境登山パート2

仲間募集中

二の塔・三の塔の環境登山、山岳保全活動を、年間活動として、モニタリング、点検、年2回春と秋の活動の準備など、月一回程度の登山をしています。一緒に活動くださる方を募っています。点検作業、植生観察楽しいですよ。是非ご参加ください!



環境登山の10年

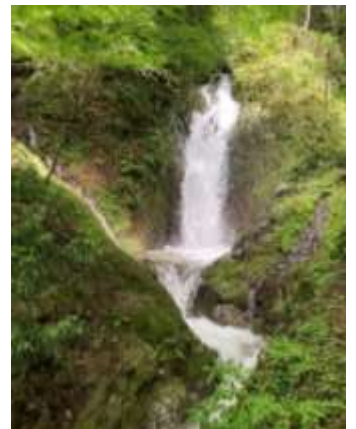
厚木市七沢にある[県自然環境保全センター](#)1階のボランティア活動コーナーにて、環境登山の10年間の活動についてポスター掲示をしています。

身近な水環境の全国一斉調査 世界環境DAY

6月4日(日)

晴れ 参加者8名

国連は、6月5日を世界環境DAYとしています。日本でも6月を環境月間としています。岳連・自然保護委員会は、この活動に参加し継続してきました。昨年度2022年。コロナ禍で、いったんとだえていましたが、活動再開しました。今年度は、6月3日、はだの蓑毛コース。6月4日、あつぎ里山コース、水質調査予定。あいにく、6月3日は、悪天候のため中止。6月4日、本厚木に全員集合。2班に分かれて活動しました。はだの蓑毛コース班は、御師の集落跡を歩きました。昔の生活や、水の大切さを思いました。JAC(日本山岳会)神奈川支部参加のHさんのお話では、JACは、全国の古道研究を展開しているとのことで、大変興味深かったです。新規ので、沢水調査「春嶽沢」は、前日の雨の影響で、水量はいつもの2倍!!午後は、みな、玉川公民館に集合し、パックテスト(水質検査)をしました。そして、分かち合いの時間を設けました。SDGs、丹沢の山のトイレ、環境配慮型バイオトイレ導入のことなど、おしゃべりしました。この活動について、厚木市山岳協会の方からも、活動の継



続をとの感想です。森林インストラクターをしている方からは、水質調査活動をやってみて、森と水との関係をつくづく感じるとのことでした。調査結果、「ささ濁り」のコメントを入れ、みずとみどり研究会に今年度の調査結果を提出しました。はだの蓑毛コースの採水地は、沢水「春嶽沢」、風の吊橋。あつぎ里山コースは、昨年採水地に加え玉川橋とで6か所。『身近な水環境の全国一斉調査』 www.japan-mizumap.org

参加者・個人会員 Kさんの感想

今回、初めて「身近な水環境全国一斉調査・水質調査活動」に参加させていただきました。初日は、あいにくの天気のため実施できませんでしたが、翌日は快晴で源流域に近い沢の水の採集ができてよかったです。

個人的には、沢登りや溪流釣りもしますので水質については以前から興味がありましたのでとても良い機会に巡り合えました。

採集を2ヶ所で行い、別班と合流しCOD検査キットを使用しての検査はとても興味深くスタッフの方々の説明も解りやすく検査を実施できました。

CODの結果は、良くて安心できました。

これからも、丹沢の水資源を大切に保全していくために何をしなければならないのか、考えるきっかけになりました。今後も続けて参加していきたいと思えます。



県民協働型登山道維持管理補修

大山イタツミ尾根、菩提峠岳ノ台の登山道のメンテナンスを月一回おこなっています。

日時	天気	参加者	作業内容
4/9	曇りのち晴れ	18名	イタツミ尾根コース荷揚げ 階段構築、ベンチテーブル補修
4/12	晴れ	1名	パテ埋め、再塗装
5/7	雨天中止		
6/11	雨	9名	イタツミ尾根コース荷揚げ
6/13	雨のち曇り	1名	草刈り、ヤマビル忌避剤の散布
7/2	晴れ	17名	レストハウス～上の休憩所までの石畳階段の補修作業
8/6		15名	岳ノ台草刈り



秦野市里山ふれあいの森づくり

秦野市と、神奈川県山岳連盟は、協定を結びました。

趣旨・広葉樹を主体とした森林を、地域住民の林業体験等自然を舞台としたふれあいやいきがいの場として有効に活用し、森林や林業に対する理解の高揚を図ることを目的とした里山ふれあいの森林づくりに賛同しこの協定を結ぶ。場所・みのげバス停からあがった浅間神社というところでは。

その他

丹沢大山クリーンピア21キャンペーン協力にご協力ください

岳連は、この活動の参加ボランティア活動参加団体に加入しています。登山とともに、ゴミの持ち帰りおよび美化清

掃活動のご協力をお願いします。楽しい登山の帰りに、ペットボトルや缶のごみ拾いを!!また、ごみ拾いをレクリエーションとして登山計画いかがでしょう!!自然保護委員会からもゴミキャンペーン登山を企画し、呼びかけたいと思います。別紙にて、記入参考用紙と記入用紙を配布いたします。山岳会で、個人で、ご記入ください。自然保護委員会で3月末にまとめます。そして、丹沢大山自然再生委員会に提出します。

山の自然セミナー開催のお知らせ

令和6年2月25日(日)に県立山岳スポーツセンターで第11回山の自然セミナーをおこないます。自然保護に興味がある皆様のご参加をお待ちしております。また環境省自然公園指導員およびJMSCA自然保護指導員の皆様には研修の機会としてぜひご参加ください。

「これでいいのか登山道 第2集」めざそう、みんなの「山の道」のご案内

『「日本の山は誰が整備し、誰が管理しているのか」、この疑問から登山道法構想はスタートしました。今回、第2集への各分野からの多種多様な寄稿により、登山道の維持管理が一筋縄ではいかない、複雑な状況下に置かれていることが、より鮮明に浮かび上がってきました。それらを踏まえて、これから取るべき方策についても、具体的な提言を掲載することができました。今回は、現場からの声を集めるということで、第1集に関心を寄せられた方たちからの声を集めました。』(岡田博行氏記)

JMSCAの各県岳連で活躍された方々も多数寄稿されています。

前委員長の松隈氏も丹沢の登山道について寄稿しています。

右記のQRコードから購入の申込みができます。

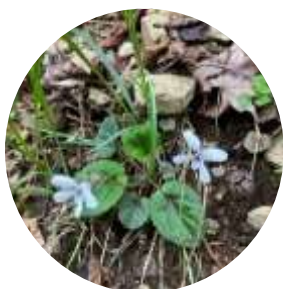
「これでいいのか登山道 第1集」よりよい「山の道」をめざして、も若干部数あるそうです。また第1集は、ヤマケイから文庫本も出版されています。



みんなの写真集



「アクセス&コンザベーション」2023春夏号 編集後記



お便り 春・夏号は、岳連・HPにも記載します。環境登山パート2 環境登山(年間活動)もHP記載しています。みなさまのご参加をお待ちしています。

みなさま、山岳会や、地元での自然保護活動、個人活動などお寄せください!!

神奈川県山岳連盟・自然保護委員会 伊藤篤子

お問合せ先: shizen@kanagawa-gakureng.jp